

# 公務部門におけるジョブコーチ支援のご案内

## ■ 職場適応支援事業（ジョブコーチ支援）とは？

- 職場適応支援者（ジョブコーチ）が訪問し、障害のある方と職場の双方に職場適応に向けた支援を行います。
- 障害のある方の障害特性や職場ニーズに合わせたオーダーメイド型の支援です。
- 課題や適応状況に合わせて、支援期間、訪問頻度、支援内容を検討し、計画に基づき支援します。

## ■ 支援の対象

### 障害のある方

- 職務の遂行に関する支援
- 職場内のコミュニケーションに関する支援
- 体調や生活リズムの管理に関する支援

### 上司・同僚

- 障害の理解に関する職場内啓発
- 障害者との関わり方に関する助言
- 指導方法に関する助言

### 管理者・人事担当者

- 障害特性に配慮した雇用管理に関する支援
- 配置、職務内容の設定に関する支援

職場適応支援者の役割：障害のある方と事業所の橋渡し

## ■ 職場定着支援の内容（例）

### 作業がなかなか覚えられない…

#### 障害のある方への支援

- 特性に合わせた作業ツールの提案や作業手順、道具、スケジュールの調整など職務遂行について作業支援を行います。
- 習得状況に合わせて目標を設定し、自立に向けて支援します。

#### 事業主への支援

- 障害特性を踏まえた指示の出し方、声のかけ方、指導方法などの関わり方について助言します。
- 作業場面や適応状況に応じた作業量の調整、作業内容の選定、目標の設定などについて助言します。

### 職場に馴染めるか不安…

#### 障害のある方への支援

- 場面に合わせて、職場のマナー・ルールや報連相などの対人スキルについて助言し、職場とのコミュニケーションを円滑にします。
- 面談を行い不安や困りごとを整理します。

#### 事業主への支援

- 面談の進め方やコミュニケーションツールの活用など、ご本人との関わり方のポイントについて助言をします。
- 一緒に働く職場の方に向け、障害特性によるコミュニケーションの特徴や配慮事項について情報提供・助言をします。

その他、体調管理・生活管理など基本的労働習慣の支援、セルフケア・ラインケアの助言、参考事例・資料の紹介など、個々のニーズに合わせて作業支援、相談支援を行います。

## ■ 職場定着支援を依頼するタイミング

採用

採用と同時に支援を開始するパターン

課題発生

雇用後に課題が生じた時点から支援を開始するパターン

「定着状況は良好だけれども受入側の不安が大きい」「問題ないと思うが、本人が漠然とした不安を感じているようだ」という状況でもご依頼ください。

## ■ 職場定着支援の流れ

1～8ヶ月（標準2～4ヶ月）

1年程度

### 集中支援期

週1～3回程度訪問  
職場適応上の課題を分析し、集中的に課題解決に向けた支援を行います。

### 移行支援期

週1回程度訪問  
職場内のキーパーソンに支援ノウハウを伝達し、支援の主体を徐々に職場に移行します。

### フォローアップ期

数週間～数ヶ月に1回訪問  
職場における自立した障害者の支援体制（ナチュラルサポート）を確立します。

支援頻度・手厚さ

職場の関わり

## ■ 支援開始までの手続き

相談の受付

- ご相談については、紹介を受けたハローワーク又は管轄ハローワークへご連絡ください。
- 職場の状況や不安なこと、支援を希望する内容を確認いたします。

支援内容の確認

- ハローワークから連絡を受けた新潟労働局の職場適応支援者が職場へ訪問し、関係者との面談や職場の見学等により就業状況や支援ニーズを確認させていただきます。

支援計画作成に係る  
打合せ

- 新潟労働局、ハローワークの担当者が訪問し、就業状況や支援内容、支援期間、訪問頻度等の支援計画を関係者に説明し、支援開始に向けた打ち合わせを行います。

支援実施

- 関係者からの同意を得た支援計画に基づき、職場適応支援者が事業所に訪問し、支援を実施します。

## ■ その他

- 無料でご利用いただけます。
- 必要に応じて、本人が関わる支援機関、医療機関と連携を図りながら支援を行います。
- 障害者職業生活相談員等、障害のある方をサポートする担当者への助言等についてもご相談ください。

### 【お問い合わせ先】

新潟労働局職業安定部職業対策課 職場適応支援担当  
新潟市中央区美咲町1-2-1 新潟美咲合同庁舎2号館3階  
TEL 025 (288) 3508  
FAX 025 (288) 3517